



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月20日

上場取引所 東大

上場会社名 小松ウオール工業株式会社
 コード番号 7949 URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加納 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 取締役部長兼情報システム部長 (氏名) 鈴木 裕文

TEL 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日 平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	11,054	—	△684	—	△613	—	112	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	10.58	—
22年3月期第2四半期	—	—

(注)平成22年3月期第2四半期は、連結業績を発表しておりましたが、平成23年3月期第1四半期より非連結での業績発表となっております。そのため、前年同四半期の経営成績については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	27,990	23,659	84.5	2,232.49
22年3月期	27,759	23,718	85.4	2,238.01

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 23,659百万円 22年3月期 23,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
23年3月期	—	15.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	5.7	50	—	150	△4.3	530	△46.9	50.01

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 詳細は、P4「2.その他の情報」をご覧ください。

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 10,903,240株 22年3月期 10,903,240株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 305,271株 22年3月期 305,125株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 10,598,046株 22年3月期2Q 10,598,254株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

当社は平成22年1月18日公表の「当社子会社の合併(簡易合併)に関するお知らせ」のとおり、平成22年4月1日に小松ウオールサービス株式会社を吸収合併したことから、平成23年3月期第1四半期より非連結決算会社となっております。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他参考資料	10
1) 前年同四半期連結損益計算書	10
2) 前年同四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の国内経済は、政府による緊急経済対策の効果などから、一部で回復の兆しが見られるものの、依然としてデフレ進行や深刻な雇用情勢等への不安が残り、景気の回復は力強さを欠いたまま推移しました。

間仕切業界におきましては、民間設備投資の抑制に伴う需要の減少や受注獲得競争の激化など、いまだ厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、当社は本年4月に連結子会社の小松ウオールサービス株式会社を吸収合併し、経営管理体制の一元化、施工業務の一体運営を図り、業務の効率化を進めるとともに、営業拠点の新設や新規優良顧客、休眠顧客の開拓強化による積極的な受注活動に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は110億54百万円、営業損失6億84百万円、経常損失6億13百万円となりました。四半期純利益につきましては、連結子会社の吸収合併による抱合せ株式消滅差益5億62百万円の特別利益等もあり、1億12百万円となりました。

(ご参考)

当社は、第1四半期より四半期連結財務諸表の作成を行っておりません。なお、前第2四半期連結累計期間の業績は、売上高111億68百万円、営業損失1億84百万円、経常損失44百万円及び四半期純損失78百万円であります。

なお品目別の売上高、受注高、受注残高の状況は、以下のとおりであります。

品目別売上高、受注高及び受注残高（当第2四半期累計期間：非連結）

(単位：百万円)

期 別 品 目	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日)		
	売 上 高	受 注 高	受 注 残 高
	金 額	金 額	金 額
可 動 間 仕 切	3,310	3,757	1,399
固 定 間 仕 切	3,299	4,760	4,034
ト イ レ ブ ー ス	2,201	2,713	1,863
移 動 間 仕 切	1,480	1,687	1,524
ロ ー 間 仕 切	290	290	48
そ の 他	470	545	146
合 計	11,054	13,753	9,016

(ご参考)

品目別売上高、受注高及び受注残高(前第2四半期累計期間:連結)

(単位:百万円)

期別 品目	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)					
	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
可動間仕切	3,050	74.5	3,043	68.6	1,308	59.3
固定間仕切	3,740	134.4	3,516	63.8	4,891	75.0
トイレブース	2,084	108.3	2,371	81.8	1,785	71.3
移動間仕切	1,576	127.9	1,593	94.6	1,484	75.9
ロー間仕切	313	68.8	303	70.9	49	77.1
その他	403	86.1	390	77.3	103	44.6
合計	11,168	101.9	11,218	72.5	9,623	71.4

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の財政状態は、総資産は279億90百万円となり、前事業年度末と比較して2億31百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は169億60百万円となり、前事業年度末と比較して3億18百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の3億38百万円の増加等と、受取手形及び売掛金の7億11百万円の減少等であります。固定資産は110億30百万円となり、前事業年度末と比較して5億49百万円の増加となりました。これは主に新しく導入しました機械装置及び運搬具等による有形固定資産8億90百万円の増加等と、保険積立金の払い戻し等による投資その他の資産3億58百万円の減少であります。

負債の部では、流動負債は29億19百万円となり、前事業年度末と比較して1億85百万円の増加となりました。これは主に、その他に含まれる未払金2億65百万円の増加等と、買掛金61百万円の減少等であります。固定負債は、14億11百万円と前事業年度末と比較して1億4百万円の増加となりました。

純資産の部は、利益剰余金46百万円の減少等から236億59百万円となり前事業年度末と比較して58百万円減少しました。以上の結果、自己資本比率は84.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、35億59百万円となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1億11百万円となりました。これは主に、減価償却費2億73百万円、売上債権の減少額6億92百万円等による増加と、抱合せ株式消滅差益5億62百万円等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億53百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻と預入に伴う純支出2億円、有形固定資産の取得による5億98百万円の支出等と、有価証券の償還による収入3億円、保険積立金の払戻による4億55百万円の収入等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億59百万円となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

(ご参考)

当社は、第1四半期より四半期連結財務諸表の作成を行っておりません。なお、前第2四半期連結会計期間末における資金は48億99百万円、また、前第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は、営業活動の結果増加した資金17億4百万円、投資活動の結果増加した資金2億47百万円及び財務活動の結果使用した資金1億90百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社の事業を取り巻く環境は依然として厳しく、平成23年3月期第2四半期の業績予想につきましては、平成22年10月15日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正を行っております。

また、平成23年3月期第2四半期の業績の状況を踏まえ、平成23年3月期通期業績予想についても修正を行っております。詳細につきましては、平成22年10月15日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ0百万円増加し、税引前四半期純損失は13百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は12百万円であります。

②企業結合に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,759	7,420
受取手形及び売掛金	8,070	8,781
有価証券	5	300
製品	83	86
仕掛品	181	103
原材料及び貯蔵品	230	210
その他	694	448
貸倒引当金	△65	△72
流動資産合計	16,960	17,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,448	5,348
機械装置及び運搬具	3,598	2,786
土地	3,631	3,428
その他	862	1,040
減価償却累計額	△6,030	△5,984
有形固定資産合計	7,510	6,620
無形固定資産		
435		418
投資その他の資産		
保険積立金	2,010	2,381
その他	1,223	1,193
貸倒引当金	△149	△132
投資その他の資産合計	3,084	3,442
固定資産合計	11,030	10,480
資産合計	27,990	27,759
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,546	1,608
未払法人税等	37	—
賞与引当金	361	448
その他	973	677
流動負債合計	2,919	2,733
固定負債		
退職給付引当金	1,180	1,078
役員退職慰労引当金	211	211
その他	19	17
固定負債合計	1,411	1,307
負債合計	4,330	4,040

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,031	3,031
利益剰余金	17,999	18,046
自己株式	△461	△461
株主資本合計	23,669	23,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9	2
評価・換算差額等合計	△9	2
純資産合計	23,659	23,718
負債純資産合計	27,990	27,759

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	11,054
売上原価	8,719
売上総利益	2,335
販売費及び一般管理費	3,019
営業損失(△)	△684
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	3
受取保険金	50
その他	15
営業外収益合計	78
営業外費用	
売上割引	6
営業外費用合計	6
経常損失(△)	△613
特別利益	
固定資産売却益	0
抱合せ株式消滅差益	562
特別利益合計	562
特別損失	
固定資産除売却損	21
減損損失	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12
特別損失合計	48
税引前四半期純損失(△)	△99
法人税、住民税及び事業税	23
法人税等調整額	△235
法人税等合計	△211
四半期純利益	112

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△99
減価償却費	273
減損損失	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8
受取利息及び受取配当金	△11
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△562
売上債権の増減額(△は増加)	692
たな卸資産の増減額(△は増加)	△94
仕入債務の増減額(△は減少)	12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21
その他	△295
小計	△40
利息及び配当金の受取額	12
法人税等の支払額	△27
法人税等の還付額	167
営業活動によるキャッシュ・フロー	111
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,000
定期預金の払戻による収入	2,800
有形固定資産の取得による支出	△598
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△79
有価証券の償還による収入	300
保険積立金の払戻による収入	455
その他	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△200
現金及び現金同等物の期首残高	3,420
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	339
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,559

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他参考資料

1) 前年同四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	11,168
売上原価	8,053
売上総利益	3,114
販売費及び一般管理費	3,299
営業損失(△)	△184
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	3
受取保険金	120
その他	11
営業外収益合計	150
営業外費用	
売上割引	10
営業外費用合計	10
経常損失(△)	△44
特別利益	
固定資産売却益	1
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産除売却損	7
特別損失合計	7
税金等調整前四半期純損失(△)	△51
法人税、住民税及び事業税	38
法人税等調整額	△11
法人税等合計	27
四半期純損失(△)	△78

2) 前年同四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<hr/>	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△51
減価償却費	244
貸倒引当金の増減額(△は減少)	93
受取利息及び受取配当金	△18
売上債権の増減額(△は増加)	1,886
たな卸資産の増減額(△は増加)	413
仕入債務の増減額(△は減少)	△379
退職給付引当金の増減額(△は減少)	75
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△84
その他	△410
小計	<hr/> 1,769
利息及び配当金の受取額	7
法人税等の支払額	△73
営業活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> 1,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,200
定期預金の払戻による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△190
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△113
保険積立金の払戻による収入	865
その他	△116
投資活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> 247
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> △190
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<hr/> 1,760
現金及び現金同等物の期首残高	<hr/> 3,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	<hr/> 4,899